

日中対照言語学会会報 (No.44)

2018年6月5日(火)発行

会報担当：加藤晴子 続三義

目次

1. 2018年度学会理事会(2018年5月20日)議事録
2. 日中対照言語学会第39回大会(2018年度春季大会)開催
3. 2018年度会員総会
資料
 - ① 2017年度決算表
 - ② 2018年度予算表
 - ③ 新役員名簿
4. 2018年度冬季大会の開催に関する事項
5. 月例会(2018年4月)

※ 事務局より

1. 2018年度学会理事会(2018年5月20日)議事録

日時：2018年5月20日(日)12:25~13:25

場所：東洋大学白山校舎9号館1階代4会議室

出席者：続三義、加藤晴子、彭飛、王学群、豊嶋裕子、安本真弓、竹島毅、趙昕、平山邦彦、丸尾誠、勝川裕子、呉川、白銀志栄、劉勳寧、椿正美、石井宏明、白石裕一、高橋弥守彦(敬称略、順不同)

理事会の冒頭、続三義理事長より、今回の理事会開催の経緯について報告が行われた。今年1月25日に、日本学術会議より協力学術研究団体の指定を受けたことによって、これからの学会の関係活動を一層軌道に乗せるようにしなければならない。そのため、今後、理事会を定期に開催していくべく、学会成立以降初めての理事会総会を開催することになった。理事全員に理事会開催の通知を送付するとともに、出欠の確認をした。出席できない理事には、委任状の提出を求めたところ、19名の理事から委任状が提出された。本会には明文化された定足数の規定はないものの、出席者16名と合わせ、39名中35名の出席者・委任状提出者が得られたことで、成立要件は十分に満たしていることがまず確認された。

[審議事項]

- ① 学会会則の改定(改定結果は学会のHPを参照されたい)

昨年12月の大阪大会と3月の拡大理事会において議論を重ねてきたことを踏まえ、これまでの「理事長」を「会長」に名称変更することに伴う数か所の修正、それから、常務理事会に関する条項、顧問の設置や、顧問の権利と義務などに関する条項の追加に関し、続理事長より報告が

あり、承認がなされ、会員総会にかけることとなった。

② 編集委員会規程の改定（改定結果は学会の HP を参照されたい）

昨年に制定した編集委員会規程は名称、および第 6 条にある「著作権の帰属」に関する規定が必ずしもはっきりしなかったので、「学会に帰属する」一言を明記したことが統理事長より報告され、承認、会員総会にかけることとなった。

③ 『日中言語対照研究論集』投稿規定の改定（改定結果は学会の HP を参照されたい）

学会誌『日中言語対照研究論集』の投稿規定も時代の発展とともに、数か所の規定を修正すべきと理事 1 名から要請があった。特に投稿原稿の著作権に関しては、これまでの規定では触れていないので、新しい条項を加えることが統理事長より報告され、承認、会員総会にかけることとなった。

④ 2017 年度決算報告（附資料①）

白石会計係から 2017 年度決算報告案の報告があり、承認、会員総会にかけることとなった。

⑤ 2018 年度予算案（附資料②）

白石会計係から 2018 年度予算案が報告され、承認、会員総会にかけることとなった。

⑥ 2018 年度冬季大会（会報第 4 項を参照されたい）

開催日は 12 月 23 日（日）、会場は例年通り大阪産業大学梅田サテライトであり、発表者募集は例年通りに行うことが、統理事長より報告され、了承された。

⑦ 新理事の推薦

統理事長より、会員の須田義治（大東文化大学教授）、栗原千里（日本大学教授）、兪鳴蒙（摂南大学教授）、橋本幸枝（大東文化大学非常勤）の 4 人を新たに理事に推薦する提案があり、了承され、会員総会にかけることとなった。

⑧ 新理事会（役員会）の選出（附資料③）

統理事長より、理事会開催に関する説明の中で、将来的には理事も選挙という形をとることになるが、現時点では、学会の現行方式によって、新しく推薦された理事は別として、現役の理事はできるだけ留任という形をとりたい旨の説明、そして、前もって理事全員に次期理事担当の意向を確認したことが報告された。そのうち 3 人が次期理事の担当を辞退するという意思表示があったことに関して、理事会で承認され、次期理事として推薦しないこととなった。そして、連絡がつかなかった現役の理事が 2 名、次期理事辞退の表明が特になかった理事が 1 名あるが、この 3 名の会員を引き続き理事として推薦することとした。以上をとりまとめた新理事会の名簿が提案され、承認、会員総会にかけることとなった。

新理事会における常務理事、一般理事の人選も承認され、会員総会にかけることとなった。

⑨ 新会長、新副会長の選出（附資料③）

上記⑧を踏まえた新理事会で、改定した学会の会則にのっとり、次期会長の選出が行われ、加

藤晴子理事（東京外国語大学教授）が当選し、次期会長として承認され、会員総会にかけることとなった。また、次期副会長として次期会長の指名を受け、続三義理事、彭飛理事が担当することが承認され、会員総会にかけることとなった。

⑩ その他

安本常務理事より、学会誌掲載の論文の抜き刷りのPDF化に関して、今後希望があった場合、PDF代として1,000円を徴収することが提案され、承認された。

[報告事項]

① 学会誌20号の出版

安本常務理事より、学会誌の編集は関係者の協力により順調に進められ、本日すでに会員に渡されるようになっていることが報告された。

② 学会誌21号の出版

王学群事務局長より、学会誌21号も予定通り原稿募集が進められていることが報告された。

③ 2017年度の会費の納入

白石会計係より、2017年度の会費納入者は180名であったことが報告された。

2. 日中対照言語学会第39回大会（2018年度春季大会）開催

2018年5月20日（日）午前9時20分～午後5時20分、第39回大会（2018年度春季大会）が東洋大学で開催され、全国から会員と講演者を含む50人ほどが参加した。東方書店様、白帝社様が出店をした。東洋大学経済学部小川芳樹学部長が開催校を代表して挨拶され、学会の年次大会の当校での開催に心から歓迎の意を表され、そのうえで、東洋大学の歴史と、グローバル化に向けて、進めている様々な取り組みを紹介され、大会開催の成功を祈られた。大会は、ほぼプログラム通り順調に進められた。

3. 2018年度会員総会

2018年度学会の春季大会終了後、2018年度会員総会が開催された。議事に先立ち、石井宏明氏を議長に選出した。総会では、昼に開催された学会理事会の審議事項に基づき、次の議題などについて審議・報告された。総会の最後に、加藤晴子新会長の挨拶が行われた。

[審議事項]

① 2017年度決算報告

② 2018年度予算案

③ 学会会則の改定

④ 編集委員会規程の改定

⑤ 『日中言語対照研究論集』投稿規定の改定

- ⑥ 2019年度出版の学会誌21号
- ⑦ 2018年度出版の学会の特集号『日本語と中国語の副詞』
- ⑧ 2018年度冬季大会の開催（12月23日（日）、大阪産業大学梅田サテライト）、および発表原稿の募集
- ⑨ 理事推薦
- ⑩ 新理事会の選出
- ⑪ 会長の選出
[報告事項]
- ① 2017年度の会員数
- ② その他

附：資料

- ① 2017年度決算表

日中対照言語学会2018年総会会計報告

1) 2017年度収支決算

(2017年4月1日～2018年3月31日)

収入の部				支出の部			
科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異
前年度繰越金	1,189,253	1,189,253	0	学会誌制作費	150,000	150,000	0
				学会誌編集費	40,000	40,000	0
				学会誌特集号制作費	50,000	50,000	0
年会費							
一般会員	480,000	492,000	12,000	ホームページ管理費	20,000	18,100	1,900
院生会員	60,000	114,000	54,000	通信費	100,000	111,382	-11,382
				事務管理費	20,000	7,149	12,851
大会参加費				大会開催費			
5月大会	45,000	44,000	-1,000	5月大会	55,000	51,994	3,006
12月大会	45,000	69,000	24,000	12月大会	55,000	57,574	-2,574
				講演費	20,000	20,000	0
				常務理事会交通費	40,000	30,500	9,500
				会計担当手当	20,000	20,000	0
				発送作業手当	20,000	20,000	0
				査読手当	10,000	10,000	0
				会計担当大阪大会交通費	30,000	30,000	0
				小計	630,000	616,699	13,301
				次年度繰越金	1,189,253	1,291,554	102,301
収入合計	1,819,253	1,908,253	89,000	支出合計	1,819,253	1,908,253	-89,000

監査報告

監査の結果、2017年度決算報告は適正であることを認めます。

2018年4月2日

監査 橋本幸枝 (橋)

監査 石井宏明 (石)

② 2018年度予算表

2)2018年度予算(案)

(2018年4月1日～2019年3月31日)

収入の部		支出の部	
科目	予算	科目	予算
前年度繰越金	1,291,554	学会誌制作費	150,000
		学会誌編集費	40,000
		学会誌特集号制作費	50,000
年会費		ホームページ管理費	20,000
一般会員	480,000	通信費	120,000
院生会員	80,000	事務管理費	15,000
大会参加費		大会開催費	
5月大会 1000円×45人	45,000	5月大会	55,000
12月大会 1000円×55人	55,000	12月大会	60,000
		講演費	30,000
		常務理事会交通費	40,000
		会計担当手当	20,000
		発送作業手当	20,000
		査読手当	10,000
		会計担当大阪大会交通費	30,000
		次年度繰越金	1,291,554
合計	1,951,554	合計	1,951,554

③ 新役員名簿

日中対照言語学会役員名簿 (2018年6月から)

顧問：荒屋勲、今富正巳、窪田富男、佐藤富士雄、史有為、鈴木康之、高木一彦、
横川伸、高橋弥守彦

特別名誉会員：北林光

会長：加藤晴子

副会長：続三義、彭飛

常務理事 (16名) (五十音順)：

関東地区 (12名)：王亜新、王学群、加藤晴子、上地宏一、時衛国、続三義、竹島毅、
趙昕、豊嶋裕子、平山邦彦、丸尾誠、安本真弓

関西地区 (4名)：下地早智子、張黎、彭飛、余維

一般理事 (24名) (五十音順)：

関東地区 (16名)：石井宏明、勝川裕子、栗原千里、康鴻音、呉川、朱継征、白銀志栄、
須田義治、竹中佐英子、椿正美、橋本幸枝、森山美紀子、安井二美子、
山田留里子、劉勳寧、魯曉琨

関西地区（8名）： 王慶、岡原嗣春、岡本俊裕、戦慶勝、原由起子、藤田昌志、苗苺、
 兪鳴蒙

会計係： 白石裕一

監査役： 石井宏明、橋本幸枝

学会事務局など

事務局長： 王学群

編集委員長： 加藤晴子

学会誌査読委員長： 平山邦彦

4. 2018 年度冬季大会の開催に関する事項

日中対照言語学会第 40 回冬季大会研究発表の募集

2018 年度冬季大会は 12 月 23 日（日）、大阪産業大学梅田サテライトで開催されます。研究発表を希望される研究者・院生の皆様は 2018 年 9 月 30 日（金）までにテーマと要旨（500 字前後）を添え、王学群（ohgakubun@toyo.jp）までお申し込みください。

5. 月例会（2018 年 4 月）

日 時： 2018 年 4 月 21 日（土）17：00～19：00

場 所： 東洋大学 2 号館 9 階・経済学部会議室

発表者： 続三議（東洋大学）

テーマ： 「天声人語」（2014.2.26）の中国語訳について

事務局より

- 1) 学会の入会は、日中対照言語学会 HP 上で随時受け付けています。申し込みができない場合は、王学群事務局長（ohgakubun@toyo.jp）、または竹島毅常務理事（sisi@kkd.biglobe.ne.jp）までご連絡をください。年間会費は社会人 4,000 円、院生 2,000 円となっています。
- 2) 毎月の例会の開催は、郵送ではなく、メールにてご連絡させて頂いております。不明の方がいらっしゃいますので、ぜひお知らせいただきたくお願い申し上げます。また、メール変更につきましても、同様をお願い申し上げます。
- 3) 次号学会誌の原稿の締め切りは、例年通り 9 月末日とします。

